

上田秋成晩年の傑作
 従来まったく知られなかった自筆稿本出現！
 自筆残闕冊子本と西荘文庫本を併せ影印初公開

新出自筆本
 カラー掲載

天理図書館所蔵 春雨物語

—自筆羽倉本・自筆残闕冊子本・西荘文庫本—

天理図書館編 【解題】大橋正叔（天理大学名誉教授）

2021年5月刊予定 ISBN978-4-8406-9771-2 C3093 ¥35000E 予約募集中！

B5判・上製本・約580頁・予価（本体35,000円+税）

- ◆天理図書館では、上田秋成自筆稿本『春雨物語』を新たに収蔵。秋成は文化6年（1809）6月27日、76歳で門人の荷田（羽倉）信美家にて没した。この稿本は、その羽倉家に代々伝わった秋成関係資料のうちの一つで、本文6篇より成る。巻頭に「序」を掲げ、巻尾に亡くなる1ヶ月前の、文化6年5月の年記を有する奥書がある。これまで未知の自筆稿本であり、『春雨物語』における本文の改稿や推敲過程を考える上で重要資料となる。
- ◆併せて、影印未刊行であった自筆残闕冊子本（全59丁）および本文完備の西荘文庫本を収録し（モノクロ網目版）、解題を付す。

収録内容

収録資料	『春雨物語』全10篇											
	序	血かたびら	天津処女	海賊	二世の縁	目ひとつの神	死首の咲顔	捨石丸	宮木が塚	歌のほまれ	焚燐	奥
『春雨物語』自筆羽倉本：6篇 【新出・高精細カラー掲載】	○	○	○	○			○		○	○		○
『春雨物語』自筆残闕冊子本		△断簡	△断簡	△断簡	△断簡	○完全稿 +△断簡		△断簡	△断簡			△上断簡
『春雨物語』西荘文庫本 上	揃											
『春雨物語』西荘文庫本 下												

上田秋成とは 江戸時代中後期の文人、享保19年（1734）－文化6年（1809）。大阪で生まれ、商家の養子として育つ。長じて、蕪村・几童などの俳人や木村兼葭堂・大田南畝などの文人と交遊を深め、代表作『雨月物語』『春雨物語』の執筆のみならず、国学・和歌など幅広い分野で活躍した。

春雨物語とは 上掲10編を収める短編小説集。文化5年（1808）に成稿を見たが、以後も死に至るまで改稿を重ねた。著者晩年の歴史観・文学観・宗教観等々、秋成世界の全てが凝縮された傑作。刊本ではなく写本により伝えられ、その本文校訂は今なお学界の大きな研究課題となっている。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

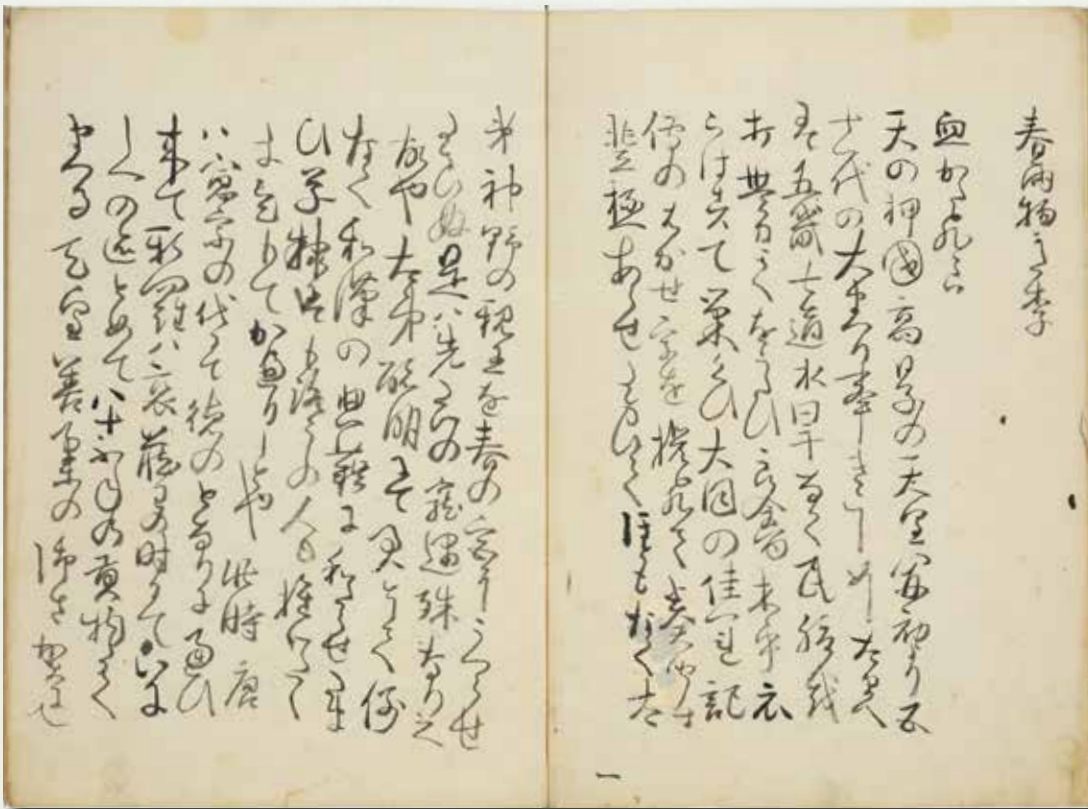
Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp http://www.books-yagi.co.jp

写本で伝えられた傑作『春雨物語』
その本文校訂に必備の新出資料！

『春雨物語』羽倉本

秋成最晩年の自筆稿本を
高精細カラーで影印

秋成が亡くなる1カ月前の文化6年5月の奥書を持ち、「血かたひら」「天津処女」「歌のほまれ」「海賊」「死首の咲顔」「宮木か塚」の本文6篇より成る。



【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	天理図書館編／八木書店発売 てんり としよかんしょぞう はる さめものがたり 天理図書館所蔵 春雨物語		2021年5月刊行予定	取扱店（番線印）
	ISBN978-4-8406-9771-2 C3093 ¥35000E 予価（本体 35,000円＋税）		[] 冊	
	お名前（ふりがな）		TEL	
	ご住所 〒		FAX	
		E-MAIL		